

平成三十年十一月号からの規定課題

過香積寺

おう
維い

通訳

不知香積寺

香積寺を知らず

香積寺がどこにあるかも知らず、

數里入雲峰

數里 雲峰に入る

數里ほど雲のかかる峰に分け入った。

古木無人徑

古木 人徑無く

古木が繁るばかりで人の通る小道もない。

深山何處鐘

深山 何れの処の鐘ぞ

深い山のどこからか鐘の音が聞こえてきた。

泉聲咽危石

泉聲 危石に咽び

泉はそり立つ岩に砕けておせぶような音をたて、

日色冷青松

日色 青松に冷やかなり

日の光は青々とした松に冷たくさしこんでいる。

薄暮空潭曲

薄暮 空潭の曲

夕暮れに、人けのない淵のほとりで

安禪制毒龍

安禪 毒竜を制す

坐禅に入った僧が、淵に住むという毒竜、そして
心中の煩惱を封じこめている姿を見た。